

◇NTTスマイル、I&Cクルーズは低圧向け◇

現在は規制対象外となっている低圧設備でのO&Mサービスも注目され、遠隔監視サービス最大手のNTTスマイルエナジーは、順調に業績を伸ばしている。同社は11年に遠隔監視サービス「エコめがね」を住宅や産業用PV向けに販売開始し、15年11月末の累計販売台数は4万台を突破。計70万kWの太陽電池モジュールが同サービスによりモニタリングされているという。同社の谷口裕昭社長は、「ここ1年で低圧設備でもO&Mの重要性が広く認知されてきた。14年11月でのエコめがね搭載の太陽電池モジュールは計33万kWだったが、1年で倍増。今年度中に100万kWを突破する見通しだ」と強調する。今後はO&M専門企業との連携を深めて、サービスの効率化へ注力していくという。

環境ベンチャーのアイアンドシー・クルーズは、10月下旬に日本初の低圧PV保守点検タブレットアプリ「PVナビ・ライト」を発売した。同社サプライ事業部の近藤陽一部長は、「低圧分野の保守点検は法規制の対象外なので、ノウハウを持つ点検作業員が少ない。当社のPVナビ・ライトでは項目ごとに保守点検箇所・方法を指定していることから高水準の保守点検を作業員の能力に関係なく均一的に実現できる」と語る。さらに同アプリは今まで作業員の手作業だった点検レポートなどを、指定のフォーマットに基づいて迅速かつ効率的に作成できるとしている。（今西）